



**学生に聞きました！
講義・大学・将来の夢**



東京医科歯科大学

URL <http://www.tmd.ac.jp/admissions/material/>
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学学務部入試課
TEL:03-5803-5083 平日(月曜日～金曜日) 8時30分～17時15分

医学部
歯学部

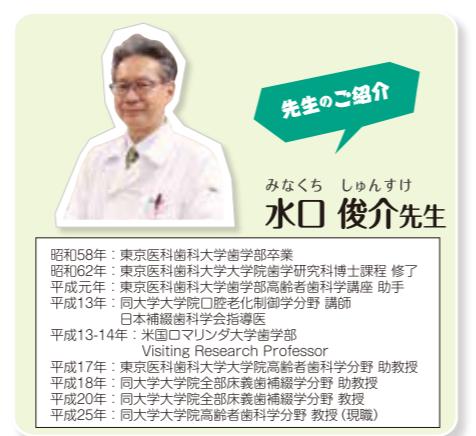
[沿革・歴史]

1928年	東京高等歯科医学校を設置
1944年	東京医学歯学専門学校となり医学科を設置
1946年	東京医科歯科大学(旧制)設置
1951年	国立学校設置法により東京医科歯科大学(新制)設置
2000年	大学院医歯学総合研究科(7専攻)を設置
2001年	大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻(修士課程)を設置 大学院保健衛生学研究科(2専攻)を設置
2004年	国立大学法人 東京医科歯科大学設置
2011年	歯学部口腔保健学科(2専攻)を設置
2012年	大学院医歯学総合研究科を改組(2専攻) (大学院生命情報科学教育部を統合)
2013年	再生医療研究センターを設置
2014年	大学院保健衛生学研究科を改組(3専攻) (共同災害看護学専攻を設置) スポーツサイエンス 機構を設置
2016年	統合教育機構、統合国際機構を設置

イベント情報

- オープンキャンパス
 - 日程：平成 28 年 7 月 28 日（木）・29 日（金）
 - 会場：湯島キャンパス
 - 総合受付場所：M&D タワー 2 階
 - 総合受付時間：8 時 00 分～16 時 00 分（8 時 00 分開場）
 - 企画実施時間：9 時 00 分～17 時 00 分

義歯の製
ですが、水
く与えてい
く、将来の



東京医科歯科大学 歯学部 歯学科

「全部床義歯補綴学」中継講義 診療室と講義室を結ぶ

10

診察室と講義室を中継で結び、すべての歯が抜けてしまった場合に使用される義歯(総義歯)の、歯の型を取るために必要な技術と技能を習得する。

講義の流れ

現代の歯科治療において、総義歯の需要は依然として高い。総義歯を製作する上で大事な型の取り方の過程を診察室から中継することで、現場で求められる力を知ることができる。

一年後

「これから総入れ歯製作のために歯の型を取る作業、印象採得を行います。患者さんはかなり頸堤（王手状に盛り上がった歯肉）が吸収して難しいケースです」と講義は中継講義という形式を取っている。学生は事前に模型で行つた実習と同じ内容で、参考



ただ治療をするだけではなく
その元を見据える

超高齢社会を迎える日本では平均寿命を延ばすだけでなく、いかに健康に生活できる期間を延ばすか、すなわち健康寿命に関心が集まっている。「人間が要介護状態となるのには、大きく分けて二つの道筋がある」といふ。

ます。一つは脳梗塞などの大病が原因でなる道筋。二つ目が、『フレイル』を経る道筋です。『フレイル』とは高齢者の虚弱要するに筋力や活動ぶり低下している状態を指しますが、その中でも口の中に虚弱が現れるのを

『オーラル・フレイル』と呼んでいます。先生によると高齢者には社会性が低下し、口や歯を健康に保とうという意識が薄れるにより虫歯や歯周病が進行し、歯を失うケースが多いそうだ。

室内で患者に対して行つて
いる実際の様子のライブ
中継を通して現場を学
ぶのだ。

部床義歯(総義歯)を達成するようになる」とが、この講義の目的です」と先生は言う。だが、その習得は容易ではない。というのも患者に口の中の状況は異なり、また同じ患者であっても噛む、飲み込む、話すなどの動作によって「技術的なことは、通常の講義や実習だけでは学べます。それよりも診察室でのリアルな患者

との関係において、我々が取るべき行動を学生たちに見せることが大切なことです」つまり知識や技術の習得は必須だが、さらによどのように患者の状況を見極め、判断の仕方を見て学び取ることが重要だということだ。学生たちは一年後には実際に患者を担当し、総義歯を作製することとなるが、この講義はその為の貴重なステップとなる。

歯科治療が社会を変える？ 超高齢社会に歯科医ができること